

まにわへおいで

伝えたい！真庭の体験プログラム

2012

特別号

バイオスタウン真庭で環境指導者講習会が開催されました

「水」「資源循環」「生物多様性」などをテーマにした、現場における環境教育のレベルアップを図った指導者講習会が41名の小学校教職員、地域環境リーダーの方々にご参加いただき、開催されました。

「まにわへおいで」は真庭市で旬な体験プログラム情報をタイムリーにお伝えする、手作り情報誌です。

Q. この講習会に参加されて (参加された先生の声)

●環境学習として、「森林のはたらき」を土壌の面からも教えていただき、また、午後は現地での見学や体験で林業の現場に触れる事ができ、しっかり学ぶことができました。小学校社会科では、県内の特色ある地域として、蒜山地方を取り上げてきました。今回の見学をとおして、「バイオスタウン真庭」として官民協力して活気ある町づくりをされている事に感動しました。地域循環型のバイオスタウンを目指している真庭市の人々のはたらきを、子どもたちに学ばせたいと思います。環境やエネルギーの問題だけでなく様々な面からの町づくりをされているみなさんの工夫や努力に感銘致しました。

(岡山市立芳田小学校校長 岡田英三様)

●真庭市に住んでいて毎日山や森を見て過ごしていますが、地元の大切な産業のことなのに知らなかったことがまだまだいっぱいあって、本当に良い勉強になりました。「あるものを有効に使う」という精神を見事に具体化し、地域に集約している真庭を誇りに思いました。(中略)良い経験をさせていただいたコカ・コーラウエスト他関係各位の皆様に感謝します。

(新庄村立新庄中学校 谷岡節子様)



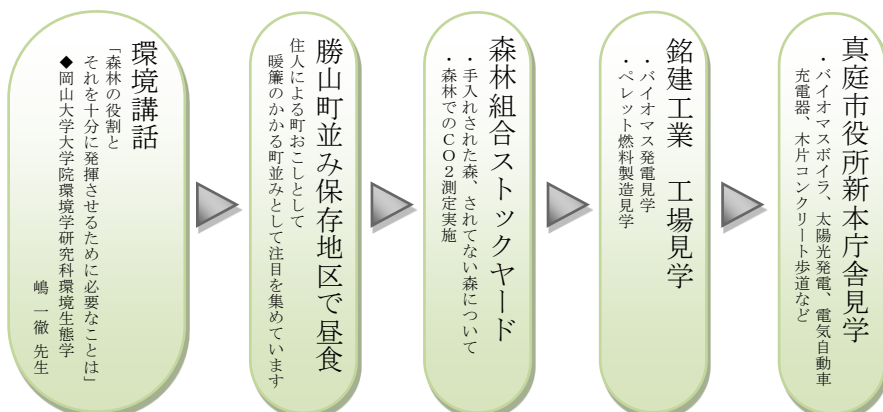
バイオマス発電で工場内の全エネルギーもまかなう銘建工業を見学

Q. なぜ真庭で講習会を？

今回の講習会はコカ・コーラウエスト株式会社が主催となり、環境学習のあり方を考える機会や教育現場における子どもたちへの環境学習への一助になれば、という思いで初企画されました。

西日本で3回(福岡、兵庫、岡山)の開催が予定された時、協力団体の「NPO法人おかやまエネルギーの未来を考える会」が、岡山での環境学習といえば「真庭市」と推薦いただき、真庭市でのバイオスタウンを主体とした環境学習講習会が実施されました。

Q. 講習会の流れ



林業の作業現場を見学

講習会では座学だけでなく、実際に森に入り、どのように作業が行われ、またその意義も学び、さらに切りだされた木が工場でエネルギーにかわる様子や、実際にそのエネルギーが使われている施設を見学しました。今回の見学で市内で作られたエネルギーの活用現場まで学ぶことで、未来の循環型社会の基盤を理解していただきました。

